

江南市総合計画市民会議 議事要旨 (第2回 第1分科会 (まちづくり分野・しごとづくり分野))

日 時 令和5年12月1日(金) 13:58~15:53
会 場 江南市役所 防災センター研修室2
出席者 出席委員7名(3名欠席)

■委員

《会長》	加藤 幸治	江南市都市計画審議会 会長
《副会長》 (欠席)	早川 美紀	公募市民
	古池 勝英	公募市民
(欠席)	平原 久世	公募市民
(欠席)	大野 真司	江南商工会議所中小企業相談所 所長
	齋藤 誠	公益社団法人愛知県宅地建物取引業協会北尾張支部 幹事
	鵜飼 篤市	江南市総合計画策定部会(まちづくり分野) 部会長
	相京 政樹	江南市総合計画策定部会(まちづくり分野) 副部会長
	石川 晶崇	江南市総合計画策定部会(しごとづくり分野) 部会長
	夫馬 靖幸	江南市総合計画策定部会(しごとづくり分野) 副部会長

■傍聴者

なし

◆議題

1 報告

(1) 第1回議事要旨の確認について

2 議題

(1) 後期基本計画(分野別計画)(案)について

3 その他

<配付資料>

資料1 第1回江南市総合計画市民会議(第1分科会)議事要旨

資料2 後期基本計画の主な新規・変更点及び市民満足度調査のまとめ

ゼロカーボンシティを宣言するメリットについて

◆会議結果

1 開会

事務局より挨拶

2 報告

(1) 第1回議事要旨の確認について

(会 長) 報告(1)「第1回議事要旨の確認について」、事務局より説明をお願いします。

(事務局) ~ 資料1について事務局より説明 ~

(会 長) ただ今の説明について、ご意見等ありますか。

～ 特に意見なし ～

(会 長) 特にご意見がないようですので、次に移ります。

3 議題

(1) 後期基本計画(分野別計画)(案)について

(事務局) ～ 資料2について事務局より説明 ～

(会 長) ～ **ゼロカーボンシティを宣言するメリットについて会長より説明** ～

(委 員) ゼロカーボンシティ宣言をしたことによるメリットを記載してはどうか。分野別計画(案)の4ページに宣言を知っている市民の割合の指標が新たに追加されているが、細かいことは市民は多分ご存知ではないと思うので、提案させていただいた。

13 ページの柱4の個別目標①に、資料2の事務局の説明であった、「新ごみ処理施設西側エリア整備事業」が新たに追加されている。多分、市民満足度調査でも市民が何にしたいのかが出ているが、温水プールもあると思うが、他市の事例で、ガラス工場の施設を併設したり、温水を活用した宿泊施設などがある。何かそういう活用案があれば示されるといいのではないか。「新ごみ処理施設西側エリア整備事業」がどういったものなのか分かるようにしてはどうか。

19 ページの柱6の個別目標①の目標の中に書いてあって、民間での建築確認などの指標があるが、そこに高齢者の生活環境の整備というのがない。他市ではそういったところもポイントとして置いていたので、何らかの形で、江南市もどこかにこういったものも、少し取り入れていく方向性があればいいと思う。

それから、空き家の対策については、他市でも審議会や協議会など設置して、宅建協会などそういった皆さんが集まって、協議していた。江南市でも、宅建協会などと、今は協定を結んで、市民からの相談を受ける体制を整備されており、市もそちらに誘導していくということで、取り組んでいる。

宅建協会からの委員もみえるので、得意分野についてそういうご意見等が何かあれば、聞きたい。

私が住んでいる市は団地が多くて、本当に空き家問題が大変。今年から、相続登記を義務づけられたけど、相続人を追っかけ切れない状況。もう施設などに入ってしまうと、書類とどこにあるのかも子供ですら分からない。だから、相続登記を義務化にして、それを追っかけていける。自治会長も悲鳴を上げている。多分江南市はそれほど問題になっていないと思う。宅建協会の委員もみえるので、そういうところのご意見なんかいただけると、ありがたい。

しごとづくり分野できづいたところもお話する。

34 ページの柱1の個別目標④の、行政の取り組みに、主な事務事業があるが、そこにシティプロモーション事業とある。こういう用語はやっぱり、一般の人向けに説明していただいた方がいい。最後に、用語の説明を付けていただいていると思うが、この事業の目的は、自治体を維持していくためにということが一つあるのと、あとは地域活性化のために。この事業をやるためにはプロジェクトが必要になってくると思うが、名称だけは分からないので、そういう何かわかるようにしてほしい。知っている人は調べれば分かると思うが、やっぱり何かちょっと考えか何かをどっか設けていただくとありがたいなどは思っている。

36 ページの柱2の個別目標①に、新規指標で耕作放棄地の面積と書いてあるが、最近、都市計画審議会でも話が出てきているが、何かの形で、耕作放棄地を利用する案を、市からの提案や委員の皆様のご意見で、提案できるようなことができないだろうか。都市計画でいうと、緑がだんだん削除されてくるということになるため、いい案があれば、皆さんに提案してい

ただければ、より良くなるのではないかと思った。

私がざっと見て、見直しのお願ひできるのであればと思って話した。私が話したことで、皆さんもちょっとこれはこうの方がいいとか、個別的にも専門的にも、ご意見が出しやすくなるかと思って、先駆けて提案させてもらった。

(事務局) ありがとうございます。

前回会長からもお話しがありましたとおり、まずはまちづくり分野から順番に委員の皆様からご意見をうかがえればと思いますが、いかがでしょうか。

(会長) 前回も話したとおり、会議が3回開催され、今日が2回目となるので、今日一応まちづくり分野を先方して意見をいただきたい。基本的なことについて意見を出して、特に言いそびれて、こういうのもどうなんですかというものがあれば、3回目の会議で少し前半にお聞きして、しごとづくり分野についてご意見をいただきたい。それで3回目となるので、総括的にまとめる必要があるため、まとめの時間を取らせていただきたいと思っている。

(事務局) 先ほどの意見の中で、シティプロモーションの用語の意味合いなどの、お話がございましたが、今回用語集につきましては、巻末に見やすいようにあいうえお順などで掲載したいと思っています。

もし、事務局案で示している計画の中で、分かりづらい言葉など含めまして、表現等も見やすくする必要のある言葉についてもご意見をいただきたいです。

わかりづらい用語については、文中に米印など付して、巻末の用語集に掲載されていることを案内するような予定でありますので、委員の皆様には、見ていただく中で、気になる用語や説明が必要だと思うもの部分につきましても、併せてご意見いただければと思います。

(委員) 「ゼロカーボン」というのは、世界的に言っていることだから皆さん聞いたことがあると思うが、要は、CO₂ をゼロに近くすればいいというのはわかっているが、もう一つ考えると、じゃあ江南市はどういうことをやることによって達成できるのかというのを、文章だけで言うと、なかなか理解しにくいと思う。

例えば、用語集で説明できるだろうし、何かそういう提案はできないか。

(委員) 言葉の定義は、用語集で掲載していただけるかと思う。

3ページの現状と・課題と今後の方向性のところに、文章では説明しているが、国が2050年までに温室効果ガスの排出を、ゼロを目指すとしているが、自治体もそれに倣っていき、全ての自治体が協力しないと当然達成できないものである。まず、そういったことが理解していただけるかということかと思う。

(委員) もう一つの案で、全国でどれだけ自治体に参加しているのかというような記載もあるといいのではないか。どれだけ自治体の中で江南市も参加しているというような形ではどうか。

(委員) 現在の記載内容が、江南市はもうすでに宣言したという前提での示し方になっている。

全国の自治体のうち、約1,000自治体が宣言しており、その1つが江南市ということになる。全国で約5割の自治体が宣言しているところで、江南市も宣言した状況となっている。

(委員) 今の認知度はどれくらいか。

(委員) 市民満足度調査の結果、知っている人の割合は約15%。

これを50%に、4年後までに目指していきたいという意味の指標となる。

単純に、今は宣言を知っているのかという指標になっているので、宣言自体を知っているのか、その中身を知っているのかでも、少し違いが出てくるかと思う。

そのあたりを整理する必要があるのかどうかということかと思う。

(委員) 私は単純にCO₂削減というと、自動車をガソリン車でCO₂ばらまくのではなく、あと、電気は太陽光発電など、具体的な例を挙げてもらわないと、なかなか分かりづらいと思う。

(委員) 例えば分かりやすいもので言えば、公用車のEV化の導入率などになるかと思うが、そうすると、予算が確保できるかどうかという話にもなるので、指標として適切か迷うところかと

思う。

(委員) 分かりやすい例を挙げてもらったほうがいいような気がする。こういう取り組みをしていくことで、ゼロカーボンに向けて努力していきますということが分かると思う。

(委員) 逆に言えば、市民がある程度そういった取り組みに協力してもらわないといけないということも伝わるのではないか。

(委員) ゼロカーボンやCO₂削減と言っても、どのような取り組みをすればいいのか分かりづらい。

(事務局) 今のゼロカーボンも含めて、具体的な環境保全の取り組みについては、4ページ下段の行政の取り組みのところ、地球温暖化対策として住宅用太陽光発電システムなどへの補助金、LED省エネルギー製品の導入や普及促進など、こういった取り組みが、いわゆるゼロカーボンシティの取り組みに繋がっていくということで、ここに具体的な行政の取り組みとして挙げているというような内容となっているかと思います。

(委員) 緑のカーテンについては、江南市はいち早く取り組んでいた。

(委員) 第四次まで策定している、江南市地球温暖化対策実行計画があり、最初の第一次計画の時に、特に緑のカーテンについて取り組んだ。昔はどうやって二酸化炭素を抑制するのかということで、低炭素社会を目指していたが、ここへ来て脱炭素社会に一気に方法転換しようというように切り替わってきているため、緑のカーテンのような取り組みだけでは追いつかない状況となっている。

新しいエネルギーである、再生可能エネルギーを使用して、取り組みを進めていかなければいけないというのが、まさにこの二、三年の時代の流れで、今転換点に立っている。

当初は、取り組みとして大きく位置付けていたが、現在は大きな取り組みの中の一つとなっている。

(委員) 市民も結構知っている取り組みである。

(委員) そういう時代の流れとともに、今、どうやって新しいエネルギーを取り入れていくかところが、重要なのではないかという気はしている。

(委員) 4ページの柱1の行政の取り組みの、太陽光発電システムなどの設置費補助金やLEDのエネルギー製品の普及促進についてだが、これらに関連する補助金の制度自体を知らない人が結構市民の方が多い。なぜかという、江南市のホームページで補助金について検索すると、検索結果が出てくるが、補助金に関する情報の掲載場所がバラバラだった。

例えば、地球温暖化対策に関する補助金と検索すれば出てくるが、どういった補助金があるのか、市民の方が、見つけることができていない。どういった補助金があるのかということが、分かりやすくホームページなどで掲載していただければ、市民の方にも認知度も広がると思う。我々業者も知らない補助金がたくさんあるので、不動産に関する補助金を、今我々宅建協会としても、消費者にメリットのある、どういった江南市の補助金があるのか、今まとめています。それを我々は、不動産業者に、こういう補助金があるということで、紹介させていただいている。それを江南市の一般市民でもわかるように、どういった補助金があるのか、対象となるのかならないのか、定員が何名までとか、そういったことを、今広報だけじゃなくて、若い方も多いから、市のホームページですぐ検索でき、まとめていただきたい。今各課バラバラで掲載していて、補助金のことを見るには、各課のホームページから入って見ないと見ることができない状況なので、不動産や環境などに関することの補助金とか、要するに項目ごとに分けていただけると、市民の方も、不動産だけではなく、せっかくあるのに、使える補助金や助成金を知らないということで使えないということがある。我々業者ですら知らないことが多々ある。それは市民が見やすい、わかりやすい、ホームページしていただきたい。

(委員) 現在ホームページはどのように補助金を掲載しているのか。

(事務局) 各課でまとめていると思う。

- (委員) 例えばホームページの掲載方法を一度検討していただくということはできないか。例えば建築に関係したものとか、土地に関係したものとかにまとめる。全部は無理なので、詳しいことは窓口に行ってくださいことでもいいと思う。あと、補助金に金額の枠がある。市民は大体都合のいいところしか見えないから、なかなか全部はで掲載できない。例えば新しく補助金できたとか、増額になったとかなどの情報を、自治会などを通じて市民にお知らせできないか。例えば、今まで100万円の補助額だったけど、150万になったとか。今言われたようにホームページどこかの欄だけ見れば出てくるとかできないか。
- (委員) 新規に制度を作ったりとか、更新したときはトップページに出てくるが、掲載期間がすぎると、埋もれていってしまうのは確かにあるので、分かりにくいというお話になってしまうと思う。そういう意味では、常時どこかで分かるっていうのは確かにある程度必要かもしれない。今市のホームページだと、そこまでの作りになっていないというのは確かにある。
- (委員) 各課には所管がある。行政はどうしても縦割りにになってしまう。部門別で補助金のホームページへの掲載方法について、検討をしていただきたい。そこを見ると、何の分類か分かればいいが、例えば何か検索すると、こんながあると分かるようになるという。市民にこっちに飛んだりあっちに飛んだりさせるのはなかなか難しい。一応そういったことが分かるようにしてもらおうのと、あとは当然来てもらわなきゃ分からないということもあるので、そういう方で整理ができないかと思う。
- (事務局) 市全般のホームページの作り方だと思いますが、今日の午前中に、ホームページを所管する行政分野の、第3分科会が開催されました。他の委員からも、ホームページの作りや、昨今SNSの方も大分普及している関係から、市のホームページを見るというよりは、SNS等から情報集められる方々も多いということで、ホームページの作りも含めて、SNS等も活用した市の情報の発信について、今のここでもご意見があったような情報発信のあり方を検討してほしいというようなご意見がありました。
- (委員) SNS等で、結局、人から聞いた方が早い。今はあつという間に調べることができる。
- (事務局) そういった時代背景もあるということも委員からご意見がありましたので、また行政分野の方で、今齋藤委員からいただいたご意見も含め伝えておきたいと思います。
- (委員) 補助金や助成金などの一覧表などを作ってくださいと市民の方は見やすい。解体工事の補助金があったり、耐震化すると補助金があったり、太陽光発電の補助金があったり、一覧表で見ると分かりやすい。さっき意見があった、専門業者の方でも分からないのに、市民の人は分からない。だから、市民がわかりやすいようなホームページとかを作ってくださいとありがたい。この分科会の担当ではないが、ここから出た意見として、担当の分科会に伝えてほしい。
- (会長) 来年度から省エネに関連する制度が変わる。昔でいう金融公庫などから、借入をしようと思うと、その条件に該当していないといけませんが、今後そういうことが多く出てくる。だから、今言われたように、整理していかないといけない。補助金は国もあるし、団体もあるし、市町村もあるので、第3分科会に今の出た意見を投げかけていただきたい。
- (事務局) 了解しました。
- (委員) 7ページの個別目標②にある、「資源ごみリサイクルステーション」は、今度布袋地区に2カ所目ができる。いろいろ今まで市民の意見を聞いてきたが、北部の和田町に一つある。今度南部にできて、やっぱり中央部に資源ごみリサイクルステーションがないということで、地元の市民の方は、やっぱり市中央部にも1カ所設置してほしい、設置しなければならないと言っている。そういう意見を、後期基本計画に反映しなければいけないと思う。ただ、場所の問題もいろいろあるが、後期4年間で設置する方向を示してほしい。
- (会長) どういった文言をいれるべきか。
- (委員) 今はやっぱりどこの家庭も共稼ぎというようなケースがあり、朝一番、ごみを出すにしても

なかなかできないし、立ち当番の協力もできないという声を聞いている。こういうステーションができれば、自分の都合のいいときに、土日でも、ごみを捨てることができ、リサイクルも推進することができる、というような言い方とかできればいいと思っている。

(会 長) そういう文面を少し追加できるかどうかというようなご意見ということか。

(委 員) 7ページの柱2 ごみ減量・処理の個別目標などに入れてはどうか。

(事務局) 本日いただいたご意見については、他の分科会も同様、この後担当課に照会をかけまして、当然取り組んでいくには、財政的な根拠も必要となり、実現可能性の部分もありますので、その点については、今日のご意見はここで結論を出すということではなく、ご意見をいろいろいただきまして、持ち帰らせていただいて、最終的に分野別計画にどのように反映をさせていただくかをご検討いただきたいと思います。また、各担当課からの回答も用意させていただきます。今のご意見としては、今後の資源ごみリサイクルステーションの増設等の検討を視野に入れたような文言を追加したらどうかというご意見ということで、よろしかったでしょうか。

(委 員) そういうことである。

(事務局) 今分野別計画(案)を見ていただいているところですが、後期基本計画にはもう一つ別部分がありまして、「市長の戦略政策」という項があります。こちらについては、市長が掲げる政策の部分になりますので、改めて市民会議で意見をいただく部分ではないですが、そちらの方に市長の施策の一つとして、「リサイクルステーションの増設」というような項目が含まれています。行政としての個別の取り組みというよりは、直近の選挙で選ばれました市長が、政策の一つとして、リサイクルステーションに関する項目も挙げられておりますので、後期基本計画の中では、市長の政策の一つとしては盛り込まれる予定です。

(会 長) 他にご意見ありませんか。

(事務局) 今柱1と2についてご意見をいただいたと思います。次は順番に、柱3市街地整備についてご意見をいただくのはどうでしょうか。

この柱でいきますと、先ほどの資料の説明でもお話ししましたとおり、江南駅の交通環境の調査に関する事業を追加していると、説明させていただきましたし、公共交通に関する分野もこの中に入っています。都市基盤整備、公共交通の関係などは先ほど説明しました、市民満足度調査では、市民の関心も高いという結果も出ておりますので、その点について柱3についてご意見をいただけたらと思います。

(委 員) 江南駅については昔から課題になっている。

(委 員) 今回ようやく予算がついた。

(委 員) 私が大学にいるときにも気になっていたが、学生に駅の改修アイデアに関する課題をやってもらい、その時、議長賞をもらった。布袋駅がやっとできたという流れがあるから、もうそろそろ江南駅をもう少し何とかしないと、江南駅の人たちが逆に今度は期待していると思う。

(委 員) 駅前のビルは大体50年経っている。耐用年数がきている時期になる。地元の方もいい案があれば、乗っかっていきますよってという話もしている。

(委 員) 地主とかどうなっているのか。

(委 員) 共同ビルになっていて、10軒が1階から4階という持ち方になっている。だから何をやるにしても全員が合意してやるというふうになっている。ただ、住民も高齢化してきているので、早く対応してほしいとは言っている。

(委 員) 1階はテナントで、2階、3階はどうなっているのか。

(委 員) 3階はアパートをやっている人もいるし、自分で住んでいる人もいる。

(委 員) 空室もあるのか。

(委 員) 空室というか自分で持っているだけ。

ただ住んでいる方も、いわゆる1階から4階まで自分のものだから、そこの2階とか3階に

住んでみえる世帯もある。あとの方は大体別のところに住んでいる。

(委員) 土地はどうなっているのか。

(委員) 土地は共同で10分の1ずつ持ち分となっている。あのビル辺り一帯を、買いますという人もいた。ただ壊すにお金がかかる。

(委員) オイルショック前ぐらいまでは、全国でも等価交換でやっていたが、今はそんな時代ではない。

(委員) でも再開発事業としてやればいい。

(委員) そういう形で、等価交換とかで全体的に整備しないと難しい。

(委員) ただ、それに市の方がしっかり乗っかっていただけるかどうか心配。

(委員) どちらにしてもこれから大変だと思う。

(委員) これから相続の話とかでてきてしまうと、なかなかまとまらなくなってしまう。

(事務局) 今の江南駅の件ですが、分野別計画(案)としましては、10ページの個別目標①の行政の取り組みに、中心拠点の基盤整備として、施策内容で、江南駅付近においては、布袋駅付近での事業効果を検証し、地域の声を参考にして、土地基盤整備の検討を進める、という表現をして、江南駅周辺のことにも検討していくような内容で盛り込まれています。

(委員) 検討はやめたほうがいい。推進しますとかがいい。

(委員) 江南駅に関する行政の取り組みについて、江南駅周辺交通環境改善計画策定事業というのは例えば渋滞のことについてとか、ロータリーのことについてのことなのか。UFJ銀行の方からロータリーに出てくる車と、ロータリーから回ってくる車と交差する部分が危ない。信号がないため、本当にいつもぶつかりそうになる。あのような状態により、事故が多いなど警察から話はないのか。例えば、信号機みたいなのを置くとか話はないのか。

(委員) 今ご指摘されているような、江南駅のロータリーという形になっているが、実際北から来ている都市計画道路芳池線と、また江南駅の南側、東西に走る都市計画道路木曾川古知野線が、接続しているような形になっていて、駅を利用しない、通過交通の方が非常に多いという状態となっている。今言われた東側の踏切がすぐ接して、現在交通事故の件数が増えているわけではないが、多くの市民の方から、まず駅での乗降専用スペースがないということを言われている。送迎の時間帯になると、駅のロータリーの中心部、植え込みがある部分になるが、あちら側に一時駐車しないといけないような状況となっている。

そのため、駅から出てこられる方が、道路を横断するということになっており、それが非常に危険だというご意見をいただいている。今調査している内容は、そういった通過交通についてと、駅を利用した方が乗降する駐車車両数など、実際にどれだけの送迎用のスペースが必要かをまず把握する。今のロータリーの中で、実際そういったスペースを確保することができるかどうかということを確認して、将来やっぱり今のスペースでは難しいということになると、さらに拡張ということを検討していく。

これらのことは、先ほどの駅前のビルの話もあるが、そちらとの関連もあるため、どのように拡張していくかということを検討していきたいと考えている。このような内容で、江南駅周辺交通環境改善計画策定事業は、今後、地元の方に調査した結果をお見せして、いろいろご意見をいただいて、計画の策定を進めたいと思っている。この事業は主に駅の広場、ロータリーの内容を充実し、整理してから、今後のいろいろな再開発のご意見もいただいているので、そういったことも踏まえて進めていく必要があるかなと思っている。

(委員) 一つはこの文言だが、行政の取り組みの内容の、最後の部分、市の中心拠点として「都市基盤整備の検討を進める」の「検討」というのは好ましくないので、「都市基盤整備の計画を推進する」などの文言に直していただきたい。つまり、再整備の計画を、今回追加した、江南駅周辺交通環境改善計画策定事業の後に、都市基盤整備の計画を進めるというようにやっていっていただきたい。そうじゃないと駅前整備については、なかなか進まないと思う。

「検討」という言葉は、行政用語である。

- (委員) 主な事務事業に、江南駅周辺交通環境改善計画策定事業を追加しているが、例えば「検討」の表現を「計画策定を進める」など、検討させていただく。
- (会長) 次に、「柱4公園緑地」について、何かご意見はありませんか。
- (委員) 新ごみ処理施設の西側エリアの緑地としてどれくらいの効果を見込んでいるのか。
- (委員) 公園の意見が多い。
- (事務局) 市民満足度調査で個別の施策として、市民にどういった活用を望まれるかということで、意向調査を行ったところ、先ほどの資料でお話したとおり、約3割強の市民が「公園」で、次いで「温水プール」が約3割弱という順に要望が多いという結果が出ています。世代別に見ますと、全世代トータルして、すべての世代の人たちが求めているのは、「公園」が3割～4割を占めているということになります。全世代の方々が求めている割合としては「公園」が3割～4割と多くを占めているというのが、今回の調査結果となります。
- (委員) 他の市町村も同じような結果が出ている。新ごみ処理施設の周りはどうなっているのか。
- (事務局) 中央エリアが、施設を建てるところになります。東側エリアが、国が防災拠点として使用します。西側エリアが、江南市が独自で活用を検討することとなっているエリアとなっています。
- (委員) だから、すいとびあ江南がどうこうという話ではないのか。
- (事務局) そちらは、公共施設の再配置計画の中で検討しています。
- (委員) 将来的には西側エリアには、何か施設ができる予定はあるのか。
- (事務局) 西側エリアは、まだどのように活用するかが決まっていないため、公園と決まっても、いろいろな公園の種類があります。
- (委員) 当面は公園となるけど、将来的には施設ができるなど、どうなるか分からないということか。
- (事務局) 西側エリアをどう活用するか現状決まっていないので、それは分かりません。とりあえず、市意向や、サウンディング調査を実施し、民間企業からのご意見等もいただいているというのが現状になります。そのため、まだ市として正式には活用方法を決めていません。また、住民の方々からも、ご意見や要望等をいただいていますけど、まだ市としては検討している段階です。
- (委員) 公園が一番いいだろう。お金が掛からないし。江南市は1人当たりの都市公園面積は、極端に少ない。県や全国平均と比べると半分以下となっている。
- (委員) これは日本全国どの自治体もそうなっている。
- (委員) 温水プールの話が出ると、いつも思うのは、市内に民間の温水プールの民間の施設が3、4カ所ある。だから、温水プールを作ってしまうと、民業圧迫というか、民間施設が困ってしまうと思う。
- (委員) 温水から電力に変えることができるのではないか。
- (委員) ごみ処理施設は2市2町で構成している。無償では提供されないのではないか。
- (委員) そのとおり。
- (委員) 隣の施設から無償で提供されると思ったら、大間違い。
- (委員) ご存知と思うが、今ソーラーパネルの処分の時期に引っかかっている。今何年間かけて、リサイクルしていかなくちゃいけない。現状で、市内でどれぐらいのソーラーパネルを使用されているのか分からないが心配。住宅関係の仕事をやっている人は分かるが、ある程度年数が経つと、当然回収しなくちゃいけない。売電していた人が、それを外したらどうなるかを考えなければならない。それはそれで仕方がないと思う。
- (委員) ソーラーパネルの、20年後、30年後はどうか。
- (委員) ちょうど今、最初に設置された分が、全部変えなくちゃいけない時期にきている。しかし、そのリサイクル工場がない。全国的にもないから、相当大変なことになる。江南市もよそに出していかなければならない。抱え込むことはできない。風車も同じ。そうなると、

- 結果原子力発電になってしまう。新ごみ処理施設の西側エリアは、大きな公園にするよう推進するしかない。
- (事務局) 今、いろんな方面からご意見をいただく時期でありますので、ちょうどこの分野のところにこの事業がございますので、市民の方から、西側エリアについてどういった活用方法があるかという、いいアイデアやご意見等ございましたら、承るかなと思っております。
- (委員) 全国的に見ても緑化がいい。自分が住んでいる地域には里山がある。里山の緑を開発しようとすると、厳しい意見がたくさん出される。
- (委員) 緑を潰すなということかと思う。
- (委員) 江南市も多分そうだと思うが、今は工業専用地域などにしないと、市内に企業が入ってこないと当然市の財政が苦しくなる。
- (会長) 次に、「柱5道路」について、何かご意見はありませんか。
- (委員) 拡幅される新しい橋があるのか。
- (委員) 愛岐大橋の手前の場所になるが、ご意見いただきながら進めている。
- (委員) あまり頻度として利用されることは少ないか。
- (委員) 堤防から愛岐大橋を渡る区間が都市計画道路の位置付けとなっている。実際、愛岐大橋のほうに入ると、橋の歩道が非常に狭くなっている。橋の拡幅とか解体など現状計画にないので、その手前の部分についても、現状で満足しているというアンケート結果も出ている。
- (委員) アンケートを行うと、利用頻度が少ないということか。
- (委員) 自転車とか歩行者の通行が非常に少ないということがあるので、少し見直をさせていただいている。
- (委員) 今第2愛岐大橋を作っているのか。反対運動があったが大丈夫なのか。
- (委員) そういった意見はあるが、今は整備を進めている。ただ、明確にいつまでに完了するかは出ていない。
- (会長) 次に「柱6住環境」について、何かご意見はありませんか。
- (委員) 空き家の関係で、市内で民間ビルを解体している。あれは鉄筋か鉄骨だと思うが、解体費用などに補助金などあるのか。
- (委員) あのビルは特定空家等の認定が外れているのか。
- (事務局) 詳しいことは、担当課に確認する必要があります。
- (委員) この話は、空家等対策協議会で今後取り扱うと思う。
- (委員) 解体費用の補助は、住宅に関してはやっているとと思う。
- (事務局) 詳しいことについて担当課に確認します。
- (委員) 市には、そういう不動産や空き家などの窓口はあるのか。
- (委員) 宅建協会と市との間で協定を結んでいる。空き家情報は、宅建協会と共有される。その空き家情報を、空き家物件は扱える業者「空き家マイスター」という資格をもっている業者にも提供し、空き家に特化した業者が、空き家物件の取引を主に担っている。ただ空き家情報がなかなかリアルタイムに更新されない。空き家バンクに登録して、そこから宅建協会に送られるが、登録件数が少ない。
- (会長) 建築課長が到着されたので、さきほどの空き家の件について説明をお願いしたい。空き家の構造によって補助金がどうなっているのかなどの説明をお願いしたい。
- (建築課) 補助金につきましては、まず、危険空き家かどうかの調査をさせていただいて、そこで危険空家等認定をしたものについては、補助金があります。
- (委員) 鉄筋コンクリートも対象になるのか。
- (建築課) 特に構造的な条件はありません。
- (委員) 最大いくらまでの補助金のか。
- (建築課) 確認します。

- (委員) 鉄筋コンクリートでも対象になるということか。
- (建築課) 危険空き家の認定が必要です。補助金額については、20万円が上限です。
- (委員) 年間何件可能なのか。
- (建築課) 予算としては、年間5件となっています。
- (委員) 20万円は解体工事費の補助なのか。
- (建築課) そうです。
- (委員) 20万5件っていうのは何年からか。
- (建築課) 令和4年に見直しをして3件から5件に増やしています。
- (委員) これは、もう少し予算的に件数が増えることはあるのか。
- (建築課) 財政課との協議になってきます。
- (委員) 例年定数に達しているのか。
- (建築課) 今のところはそうです。ただ今年度は少ないような気がします。
- (委員) 少ないということは、5件に到達しないということか。
- (建築課) そうです。
- (委員) 3件のときは定数に達していたか。
- (建築課) 達していました。昨年度も5件でしたが、予算はすべて使い切っています。今はおそらく物価高騰の影響などから申請が出されていないのではないかと思います。また、先ほど説明しました危険空き家への審査をした時に、認定までされていない案件もありますので、そうした理由も関係しているのではないかと思います。
- (委員) そうすると、19ページの個別目標②の「特定空家等の件数」については、基準値が令和4年度実績で2件とされ、令和9年度の目標値は0件となっているが、これは特定空家等を無くすという意味なのか。
- (建築課) 周辺に影響のある危険な空き家である「特定空家等」を0件にしたいということです。
- (委員) その2件の対応はまだ終わっていないのか。
- (建築課) まだ2件はありまして、そのうち先ほどお話がありました民間ビルの案件も入っています。そのため、現在その案件は解体が行われているので、多分残り1件になると考えられます。ただ、今後特定空家等に認定されていく案件もあるので、件数が変化する可能性もあるため、数字はまた動くかと思えます。
- (会長) 次に「柱7治水」について、何かご意見はありませんか。
- (委員) 「雨水貯留浸透施設設置費補助金申請累計件数」の令和9年度の目標値が前期計画時から減らされている。これは、実績値が少なかったからか。
- (事務局) 令和4年度の実績値に即して、令和9年度の目標値を、前期計画から下方修正しています。
- (委員) 実績が少ないということで、下方修正されているかと思うが、これはもっと増やさないと、今後の集中豪雨などに対応できないのではないか。
- (事務局) 直近の実績値が、令和4年度の1,343件になりますが、計画策定時は、令和5年度の目標値2,190件を目指していましたが、実際は、直近の令和4年度の実績が1,143件だったため、残りの計画期間の4年間で、どこまでの目標を立てるかを検討した結果、実績に即した形で下方修正として2,310件と設定をしています。
- (委員) 今古知野高校で整備されているが、雨水貯留施設の整備は順調に進んでいるのか。
- (事務局) 市の取り組みとしましては、今言われた古知野高校の雨水貯留施設を整備したりしています。他の小中学校にも、雨水貯留施設を整備していく計画は持ち合わせています。雨水貯留施設の整備につきましては、今後も計画的に進めていきます。23ページには古知野高校の現場写真も掲載されています。
- (委員) 前期計画から写真も更新されるのか。
- (事務局) 写真は適宜、現状で取り組んでいる内容で、写真を差し替えています。

(会 長) 次に「柱8下水道」について、何かご意見はありませんか。

(委 員) 26 ページの市民協働事業に、「PR ブースを設置」とあるが、こういった内容なのか説明してほしい。

(事務局) 担当課がないため、詳しい説明ができませんが、市が行うイベントなどに、下水道課職員が出向き、市民への下水道に関するアンケートの実施、下水道への接続を普及するために、PR ブースを設け、チラシなどを配布するなど行っています。

(委 員) 江南市は市街化区域での下水道整備が遅れているが、下水道整備の完成予定をどのように考えているのか。

(事務局) 要はいつまでに下水道整備を完成するかということですか。

(委 員) そう。

(事務局) 今のご質問は持ち帰らせていただき、担当課に照会し、今後の見通しを確認します。委員の意見についてですが、24 ページの「今後の方向性」に、明確にいつまでということは記載されていませんが、委員からもご指摘があった通り、下水道整備については江南市は平成5年度から着手し遅かったという現状が書かれています。愛知県平均からも少し低いという状況から、市の方針としましては、早急に下水道整備を進めていき、処理区域内での水洗化率を向上させるという考えがあり、総合計画上ではこのような形で方向性は示している状況でございます。

(会 長) 詳細なことについては、担当課に確認してほしい。

(事務局) 了解しました。

(会 長) 次に「柱9上水道」について、何かご意見はありませんか。

(事務局) 先ほど建築課から説明した、空き家の解体工事費の補助金についてですが、木造のみが対象とのことでした。先ほど話がありました民間ビルについては、木造ではないため、そもそも申請ができなかったとのことでした。補助金に関しては対象ではないが、特定空家等には認定はするということになります。

(会 長) 他にご意見ありませんか。今日は、まちづくり分野の柱1から柱9までご意見をいただいた。次回は、前回部分の言い忘れやこうして欲しいなどを最初に確認してから、しごとづくり分野に移り、最終的にまとめていきたいと思う。

3 その他

次回以降会議日程について

(事務局) 次回第3回分科会は、12月22日(金)午後2時から防災センター研修室2で開催します。事前に開催通知と事前配付資料があれば送付させていただきますので、よろしくお願いいたします。

4 閉会

会長より挨拶

以上